資料９

地域の明るい未来に向けた
戸沢村の取組みについて

令和8年10月23日(金)

最上川舟下りの里
戸沢村

戸沢村長　加藤　文明

地域の明るい未来に向けた　戸沢村の取組みについて

1．戸沢村の将来ビジョン（将来像）

「最上川・笑顔・いきいき夢あふれる故郷(ふるさと) 戸沢村」

①安心して暮らせる潤いとやすらぎのある村づくり

②活力に満ちた村づくり

③健康で笑顔あふれる元気な村づくり

④文化と自然を大切にする心豊かな村づくり

⑤村民の参加と協働による村づくり

第５次戸沢村総合計画後期基本計画（令和8年～12年）







2．重要プロジェクト

（1）定住促進プロジェクト（しごと・くらし）

経済基盤の強靭化と良好な定住環境を形成し、生産年齢人口の転出抑制とUJIターンによる転入増加につなげます

1）農林業の稼ぐ力を応援します

園芸作物の振興、農産物等の特産品開発、農業後継者の育成による担い手確保

2）自然体験観光、事業活性化、働きがいを応援します

広域観光ルートの確立、インバウンド対策の強化、若者労働者の雇用の場の確保

3）自然が身近で安全な定住環境をつくります

定住促進住宅の建設、空き家情報の提供、除雪体制・除雪機械の整備

第3期戸沢村総合戦略（令和8年～12年）

２．重要プロジェクト

（２）出生数増加プロジェクト（ひと・つながり）

県内外との交流を通じて関係人口を増やし、若者（子育て世代）の移住可能性を高めます

１）村の「ファン」と「応援団」を増やします

都市等との地域間交流の推進、中井町とのふれあい交流事業、広域交流の拡大と相互連携の推進、UJIターンの受け入れ対策の推進

２）子どもを育てる、健やかに育つ環境を地域と一緒につくります

保小中一貫教育の構築、親子や親同士等の交流機会創出、誰もが働きやすい雇用の場の確保、子どもの人権尊重の推進、ひきこもり等の未然防止

第3期戸沢村総合戦略（令和8年～12年）

2．重要プロジェクト

（3）健康長寿プロジェクト（げんき・ささえあい）

生涯にわたる健康で活躍できる環境と、みんなで支え合う村づくりを進め、健康寿命の延伸と60歳以上の転出抑制につなげます

1）生涯の健康と活躍をみんなで応援します

健康指導・健康教育の充実、村民主体の健康づくりの推進、こころの健康づくりの推進、村民との協働の推進、自治会・地区会等への支援

2）村民の暮らしをみんなで最後まで支えます

災害時の避難支援体制の強化、高齢者の生活支援の推進、高齢者の居場所づくりの推進、地域支え合い活動の促進、認知症対策の推進、在宅介護支援の推進

第3期戸沢村総合戦略（令和8年～12年）

3．主要な施策

（1）移住・定住推進事業

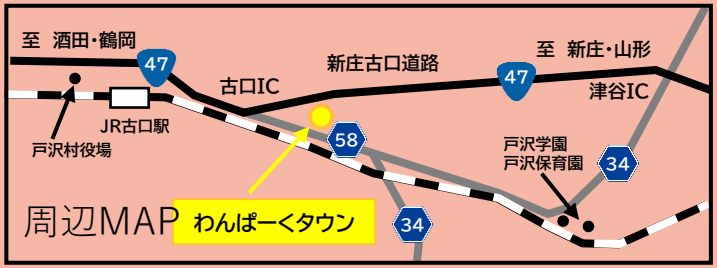
移住・定住の受け皿となる住宅・宅地が不足していたことが課題。廃校となった古口小学校跡地を活用し、定住環境の整備を進め、村の移住定住の推進を図ります。

令和３～４年度　子育て応援住宅３棟を整備

令和５年度　とざわんパークを整備

令和６～８年度　16区画の分譲地を整備

令和９年度～　分譲開始予定







3．主要な施策

（2）関係人口の拡大・にぎわいの創出

・村イベントの開催、近隣市町村との連携（やまがた村祭り）

・県立最上川自然公園（幻想の森）のPRと利活用

・広域観光ルートの確立、庄内コンベンション協会等との連携強化

・インバウンド対策の強化（台湾からの旅行誘致）

活気のある村づくりをめざします







3．主要な施策

（3）防災集団移転促進事業

度重なる浸水被害から住民の命を守り、安心して暮らせる居住環境を整備するため防災集団移転促進事業を進めています。

対象地区：戸沢村蔵岡地区（全６８世帯）

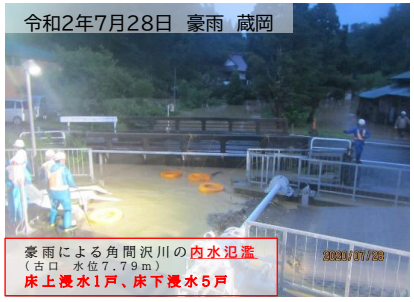
事業内容：住宅団地の造成、移転元地の土地買収・建物補償等

事業期間：令和７年度から令和13年度

総事業費：約59億円



蔵岡地区は歴史的に幾度となく水害により被災。頻発化･激甚化する水害から命を守るためには、一刻も早い移転が必要。







４．今後の展望

「最上川・笑顔・いきいき夢あふれる故郷(ふるさと) 戸沢村」

戸沢村は「国保発祥の地」

　度重なる困難や課題を乗り越えるためには、お互いに助け合う相互扶助の精神を現代の形に合わせて再構築する必要があります

　村民・地域・行政が一体となり、地域の明るい未来に向け、持続可能な村づくりをめざします







５．結び

皆様によるあたたかいご支援とバックアップが不可欠です

山形県ならびに市町村長の皆様をはじめ、皆様方の引き続きのご協力・ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます

ご清聴ありがとうございました



YAMAGATA
TOZAWA VILL.